

登録日 2021/3/23

登録番号 Ova026

腫瘍名 卵巣がん

申請医師 産婦人科

投与スケジュール

PLD+CBDCA+Bmab (Day1, 15) 28日毎 最大6コース、その後維持療法を行いPDまで

			1コース		2コース		(day)	
			1	15	29	...		
①	デキサート パロノセトロン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 50 mL	点滴 15分	↓		↓		
②	ドキシル 5%ブドウ糖液	30 mg/m ² 250 mL	点滴 90分	↓		↓		
								↓
③	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 5 250 mL	点滴 60分	↓		↓		
④	生理食塩水	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓		↓		
⑤	生理食塩水 (プライミング用)	50 mL	点滴 5分		↓			↓
⑥	ペバシズマブBS 生理食塩水	10 mg/kg 100 mL	点滴 30分	↓	↓			↓
								↓
⑦	生理食塩水 (ペバシズマブBS用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓	↓			↓

維持療法の場合、下記の方法でペバシズマブBSのみ継続 21日毎 × PDまで

			1コース		2コース		(day)	
			1		22	...		
①	生理食塩水 (プライミング用)	50 mL	点滴 5分	↓				↓
②	ペバシズマブBS 生理食塩水	15 mg/kg 100 mL	点滴 30分	↓				↓
								↓
③	生理食塩水 (ペバシズマブBS用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分 (全開)	↓				↓

注意事項

- 維持療法を行う場合、ペバシズマブBSのみ継続投与する。
- 投与量が90mg以上の時は、溶媒を500mLとする。
- Infusion reaction発現の危険性を最小限にするための投与速度は、1mg/minを超えないこと。
- Infusion reaction発現後に投与を再開する場合、0.7mg/min以下になるよう投与速度を遅くする。
- 初回投与時のLVEF値は50%以上が目安。
- 心筋障害の投与中止の目安
 - LVEF値が45%を下回った時。
 - 投与前LVEF値より20%以上の低下がみられた時。
- ルートにインラインフィルターを使用しない(リポソーム製剤のため、粒子が詰まるため)
- ペバシズマブBSは、初回90分、副作用がなければ2回目60分、3回目以降30分に短縮可

参考文献

1) Lancet Oncol, 21, 699-709 (2020).
 2) 添付文書(ドキシル2021年1月改訂、カルボプラチン2018年1月改訂、ペバシズマブBS2023年4月改訂)